

質問1 「50年度の進路指導で特に困った問題があつたら書いて下さい。」

回答 86校からの回答があつたが、回答件数も86件で、分類して多い順に示すと次のとおりである。

○対企業に関するもの (71件 (83%))

- | | |
|---|------|
| (1) 地元求人が少なくて困った。 | 21校 |
| (2) 地元事業所の合否決定が遅い。 | 9 // |
| (3) 公社関係の結果判明が遅い。 | 5 // |
| (4) 10月当初で充足してしまい事前の指導が困難。 | 5 // |
| (5) 一般的に求人数が減って困った。 | 5 // |
| (6) 求人票どおりの条件でないところがあつて困った。 | 3 // |
| (7) 生徒の希望する職種の求人が少ない。 | 2 // |
| (8) 求人取り消しがあつた。 | 2 // |
| (9) 合格率が低下した。 | 2 // |
| (10) 製造業の求人が減少した。 | 2 // |
| (11) 地元求人の出足が遅い。 | 2 // |
| (12) その他
(家庭訪問勧誘があつた。ペーパーテスト中心になつた。郡部の生徒が不利。求人票なし。家庭環境で不採用。締切・試験日が早すぎ。調査書を本人に直接返送。試験連絡なく受験不能。等々) | |

○進路指導の仕事に関するもの (7件 (8%))

- | | |
|---|----|
| (1) 進路指導費の不足で困った。 | 2校 |
| (2) その他
(多忙で、専任の助手がほしい。各種調査依頼多く、形式もまちまち。R・Tの調整に苦労。生徒の適性発見が計画的になされなかつた。通勤距離の遠い生徒の指導がむずかしい。) | |

○生徒・父兄に関するもの (8件 (9%))

- | | |
|------------------------------------|------|
| (1) 生徒、父兄の希望が高くわがままである。 | 2校 |
| (2) 生徒が不況の深刻さを知らない。 | 2 // |
| (3) 一般的に学力が低をきたしている。 | 2 // |
| (4) その他 (進学先決定の時期が遅すぎる。公務員希望の増。等々) | |

質問2 「進路指導に関することで、県進協として取り組んでほしい問題があつたら書いて下さい。」

回答 47件の回答があり、多い順に示すと次のとおりである。

- | | |
|----------------------------------|------|
| (1) 統一応募書類による求人を全求人者に徹底を。 | 6校 |
| (2) 解禁日をもう少し遅くする運動を。 | 4 // |
| (3) 進路指導費対策を (PTA、県費) | 4 // |
| (4) 是非はともかく実施されるのなら進路主事も主任へ。 | 3 // |
| (5) 進路担当者の負担軽減 (持時間等) を。 | 3 // |
| (6) 事業所側へ合否決定の迅速化を働きかけよ。 | 3 // |
| (7) 進路指導の専門的研修の場をつくれ。 | 3 // |
| (8) 高校側での主体的求人不況対策の樹立を。 | 2 // |
| (9) 地元求人者への求人手続きの啓もうと指導を。 | 2 // |
| (10) 学校指定求人の中止を要望せよ。 | 2 // |
| (11) 定時制高校・心身障害生徒に対する求人差別をなくせ。 | 2 // |
| (12) 高校生と短大生との同一日、同一問題による選考をなくせ。 | 1 // |
| (13) 大学入学辞退者の入学金返却の働きかけを。 | 1 // |
| (14) 学校に連絡しない事業所への要望を。 | 1 // |
| (15) 私立高校へ本会加入の働きかけを。 | 1 // |
| (16) 職業高校からの進学の道を大学側へ働きかけよ。 | 1 // |
| (17) 公務員・公社の試験の早期化働きかけを。 | 1 // |